

令和5年度大学陳情結果報告

全国商業高等学校長協会大学入試対策委員会

私立大学陳情結果報告

大学名	面会者(役職)	商業高校生に対する推薦入学制・特別推薦制等の要望事項に対する反応 推薦入学・特別推薦制、資格重視・商業科目の導入・拡大等
神田外語大学	アドミッション&コミュニケーション部 アドミッションチーム シニアマネージャー	商業関係高校生徒に対する推薦入学制・特別選抜等について、英語検定を推薦条件に入れている。これまで10月に実施していた指定校推薦を今年度は12月実施を追加した。 全商特別推薦で入学した学生はビジネスキャリア専攻に所属し、簿記を必須として学ぶ。ビジネスキャリア専攻の所属に変更予定はない。 全商特別推薦で入学した学生の成績は優秀である。CPAは1人を除いて、4.0に近い3.0以上である。
関東学院大学	学長 アドミッションズセンター センター 課長・課長補佐	学力試験における入試科目について、25年度共通テストについては「情報Ⅰ」を導入し、点数化を行う予定である。 指定校推薦、特別推薦での入学者については優秀な学生が多い。前向きな学生が多い。 商業科目にかかわる基礎的な知識が身についている。今年度、大変優秀な生徒を推薦していただき感謝している。
國學院大學	総合企画部・入学課 課長	全商協会推薦以外の商業関係高校対象の推薦入試制度は設けていない。 商業関係高校には、これまでの実績により指定校推薦をお願いしている。 近年は、商業関係高校に限らず、総合型選抜入試(旧AO入試)の出願者が増加している。 指定校推薦は、出願者数が大幅に減少し、目的意識の低い生徒も受験しているため、不合格者を出すケースや合格させても当該校へ厳しく注意するケースも増えている。 商業関係高校出身者はモチベーションが高く、探究学習にも慣れており、目的意識も高い。商業関係高校対象の推薦入試制度は設けないが、全商協会推薦制度は引き続きお願いしたい。 総合型選抜入試への出願者増加に伴い、募集定員数の増加を含め検討している。 学力試験における入試科目について簿記等の価値はわかっており、入試科目に設定したい気持ちはあるが、問題作成が非常に難しく労力がかかるため、入試科目とすることは考えていない。 商業関係高校の入学者に限らず、入学前教育として、eラーニング(東進ハイスクール)を課している。また、入学後も引き続き利用できるようにしている。 全商協会の推薦制度の活用については、教授会からも肯定的な意見が多い。募集枠を広げるかについては検討していないが、次年度の継続は確定している。
駒澤大学	入学センター入試課入試課 長、試験実施係	全商推薦で入学してくる生徒は、GPA数値も高く、真面目で優秀な生徒が多い。学習習慣も身につけており、非常に頑張っている。本学の学生は数学が嫌いで文系というかたちで進学してきているが、全商推薦や指定校推薦等で入学してくる商業高校生は、経済学部・学部ともに数学を苦手としていないと思う。その一方、英語は若干苦手とする学生もいるものの、教養学部で終わりのため、ほぼ問題はない。 他大学によっては、入学後スポーツ推薦や商業系推薦、指定校推薦の生徒を分けて講義をしていることも聞かすが、本学では入学方法を問わず、横並びで扱っている。 コロナの影響もあり、地元志向が強まっていると聞く。多様な推薦制度を活用してほしい。
専修大学	商学部長、教務部次長	全商特別推薦、商業高校の指定校推薦による入学者の入学後の成績は概ね良好である。これまで同様に継続したい。公募制推薦もぜひ利用してほしい。 高校生に身に付けてほしい力は、データ処理や統計を読み取る力など数学的素養とプログラミングの基礎力と考えている。

大学名	面会者(役職)	商業高校生に対する推薦入学制・特別推薦制等の要望事項に対する反応 推薦入学・特別推薦制、資格重視・商業科目の導入・拡大等
千葉商科大学	入試セクション課長、入試広報部入試広報課課長	商業からの入学者に対しての入学後の対応等について、特別なコースは設けていないが、日商簿記3級以上をもっている学生には科目「簿記」の単位を認定している。 2025年度に現行の5学部7学科の編成を4学部6学科に変更する 【現行】 商経学部(商学科・経済学科・経営学科)、政策情報学部、サービス創造学部、人間社会学部、国際教養学部 【2025年度】 商経学部(商学科・経営学科)、総合政策学部(経済学科・政策情報学科)、サービス創造学部、人間社会学部
中央大学	商学部事務職	指定校推薦、特別推薦での入学者については優秀な学生が多い。前向きな学生が多い。商業科目にかかわる基礎的な知識が身についている。 25年度共通テストについては「情報Ⅰ」を導入し、点数化を行う。総合型選抜について、志願者の業績(検定・ビジネスコンクール表彰等)について点数化を検討している。
東京経済大学	入試課長、経営学部長、経営学部教授	商業からの入学者は、真面目な生徒が多い。会計PP希望の日商1級取得者を獲得したい。 そのためには、会計PPのメリット(ほとんど学費がかからない等)をもっと周知しないといけないと考えている。 経営学部の人気が高いことから、枠について検討する可能性もある。
獨協大学	入試部入試課長	国際教養学部で学力検査等に寄らない「探究活動」の成果などの入試の評価基準について、検討している。 経営学科で必修の「簿記原理」等の履修は免除となる。英語の授業は5つのレベル(TOEICの点数)に分けて実施している。 英語サポートルームの設置、英語の自学自習用ネットコンテンツの提供している。
日本大学	教務課入試担当、商学部教授	商業関係高校生は模範となる生徒で日々学習するスタイルを維持できる生徒が来てくれている。 探究学習やビジネスに関する課題に熱心に取り組める。少人数学習の中、リーダーシップを発揮し、簿記の学習なども普通科出身の生徒のサポートをしてくれている。
法政大学	入学センター長 部長、入試課課長	学力試験における入試科目としての商業科目の扱いについて、センター利用入試B方式 数学で「簿記会計」を利用可能(法・経営・キャリアデザイン) 商業高校出身者は全般に成績優秀で全額の平均を上回るケースもみられる。 目的意識が明確で学部の方針と一致していることが多く、学部としても期待している。 全商大学特別推薦、商業学校等対象公募推薦入試とも、定数の充足を図りたい。
武蔵大学	アドミッションセンター	学力試験における入試科目としての商業科目の扱いについて、令和7年度以降「総合的な探究の時間」科目の位置づけを含め新教育課程に準じた扱いとなる予定。 全商協会特別推薦制度で入学した学生は、期待が大きい。主体的に学ぶ意識が高いうえ、礼儀正しく、教職員からの評価が高い。